



細胞表層工学の進展 Development of Cell Surface Engineering

植田 充実 監修

B5判・246頁，価格：63,800円（税込），シーエムシー出版

本書は，世界規模で研究，開発，活用が広がっている「細胞表層工学」について，基礎から応用までこれまで約20年分の内容をまとめたバイブルとなっている．対象も微生物の酵母や大腸菌，麹菌，乳酸菌，ビフィズス菌から，ウイルスであるファージや動物細胞までカバーしており，幅広いバイオテクノロジー関係者が興味を持てる内容に工夫されている．4章立てとなっており，第1章ではバイオリファイナリー技術やバイオレメディエーション技術への応用が中心となっている．第2，3章ではワクチン技術などの医療応用に関する内容が，他種多様な細胞種を対象に豊富に記載されている．第4章では新展開の応用として，バイオセンサー，固定化，耐性付与技術などへの応用に関する内容が記載されている．今後もバイオテクノロジー分野において先導的役割を果たしていくであろう細胞表層工学の新しい展開をイメージすることができる締め括りとなっている．図表や文章量もバランスよく構成されており読みやすく，当該分野の研究者のみならず，生物工学に関連する幅広い研究者・技術者の方々におすすめの一冊となっている．

（大阪市立大学 尾島 由紘）